

東平のマンブ



新居浜
新居浜の
玉手箱



昭和 39 年 2 月に東平で撮影。鉱山の坑道のことを「間歩(まぶ)」、「マンブ」などと呼びます。

市史編さん室では、新居浜市に関係する古い資料を調べています。
あなたのご自宅にも古写真や古文書などが眠っていませんか？皆さんからの情報をお待ちしています。

▼このトンネルは坑道ではありませんが、いかにもそのように見えることから、東平の人たちは「マンブ」と呼んでいました。実際は住民の生活道路として使われたトンネルで、線路は物資を運ぶトロツコ用のものでした。物資は平野部からつながる鉱石の輸送経路も使って運ぶことができたため、東平の生協には生活用品から生鮮食品まで品揃えが豊富で、山中にあっててもその日に採れた魚でお刺身を楽しむことができたそうです。

寒さの厳しい東平の冬。和服姿の母親が幼い子どもを連れて買い物に向かうところでしょうか。寒空の中を仕事から帰ってくるお父さんを迎える温かい家族の光景が浮かびます。

市史編さん室 (☎65・1567)

広告欄